

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	杉山 憲司 (すぎやま けんじ)	所属	東洋大学
研究集会等名称	心理学教育研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 72名 (うち認定心理士 4名) 非会員 4名 (うち認定心理士 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください) 日本心理学会中に1回、そのほかに1回公開研究会を実施した。</p> <p>■日本心理学会大会内でワークショップの実施 日本心理学会第74回大会内で「若手研究者の心理学授業の工夫」と題してワークショップを行った。話題提供者は、小林麻衣氏(東洋大学)、吉田宏之氏(日本大学)、近江玲氏(お茶の水女子大学)、小森めぐみ氏(一橋大学)、佐藤 史緒氏(東洋大学)、大島 みずき氏(東京学芸大学)の6名であり、指定討論は、澤田匡人氏(宇都宮大学)であった。この企画の背景には、多くの若手教員が大学院で心理学に関する大学教授法や学生参加型授業の作り方について学ぶ機会は殆どないことがある。本ワークショップには若手教員を中心に約60名が参加した。授業での実践レベルを高めるため、若手研究者を中心に、それぞれの授業における実践を紹介し、その工夫を共有することができた。</p> <p>■公開研究会の開催 2012年3月3日に「心理学教育の目標設定の再検討：他専攻との対話から」と題して、研究会を実施した(於：武蔵野美術大学・新宿サテライト)。話題提供として、「科学技術の学部教育の目標と方法」(松原克志先生・常磐大学国際学部・教授)、「法学の学部教育の目標と方法」(石田京子先生・早稲田大学法務研究科・助教)、「心理学の学部教育の目標と方法」(荒川歩・武蔵野美術大学造形学部・専任講師)であった。参加者は12名(うち会員8名・認定心理士1名)であった。他分野からの視点を通して、心理学教育のかかる課題が明らかになった。</p> <p>■ウェブページの開設 ウェブページを開設した(http://www.k2.dion.ne.jp/~kokoro/psy-edu/)。</p> <p>■今後の課題 具体的な教育方法について、多くの会員が情報を求めていることが明らかになった。また、将来的には心理学の教育カリキュラムを再構築する必要性が高まる可能性が考えられた。直近の課題と長期的課題の両面から会員間の情報交流が必要である。</p>		